

くらし専門部会の課題

- 既存のコミュニティに加え、新たなコミュニティや絆づくりが求められている
 - ・下町情緒が残る地区や高層マンションなどコミュニティが生まれにくい地区がある。
 - ・ワークライフバランスなどにより、地域や人と関わる時間を生み出す。
 - ・同じ課題を共有でき、地域の中で解決したり、一人ひとりが主体的に参加できるような多様なコミュニティづくりが必要。
 - ・趣味や価値観を同じくする人が、世代を超えて気軽に集まれる場や機会が必要。
- 一人ひとりが担い手となり、互いに支えあえる関係づくりが求められている
 - ・親元にいる若者が増えているが、今後は介護の担い手として期待できる。
 - ・元気な高齢者が増えていくことが予想され、活躍できる場が必要。
 - ・財源が限られており、ボランティアや施設（行政）に頼らない子育てや介護が必要。
- 一人ひとりが意識しながら、健康づくりに取り組むことが求められている
 - ・健康寿命を伸ばすためには、個人の健康管理意識の向上と継続的な取り組みが必要。
 - ・健康寿命が延伸すると、扶助費の削減につながる。
- 必要な支援を受けながら、地域で安心して暮らせることが求められている
 - ・高齢化の進展により「老老介護」の増加が予想される。
 - ・足立区版地域包括ケアシステムの構築や働きながら介護ができる環境づくりにより、住み慣れた自宅で生活し続けたいという願いをかなえられるようにする。
 - ・高齢や介護のために働きたくても働けない人への支援が必要。（生活保護）
 - ・障がい者の方に目を向けた施策展開が必要。
- 足立産のものを足立で消費できる仕組みや足立で就労できる場が求められている
 - ・23区でも有数の農業区であることを活かして地産地消を進める。
 - ・農業だけでなく、優れた職人技の作品により地域経済を活性化させることが必要。
 - ・地元での雇用を生み出す既存の中小企業を、みんなで磨いて育てることが必要。
- 新たな足立のイメージを発信していくことが求められている
 - ・区民による評価はあがってきているが、区外からの良くないイメージが抜けない。
 - ・区を挙げて応援するスポーツや文化、生涯学習などにより、新たなイメージをつくる。
 - ・大学があることを活かし、産官学連携による新たな足立発のものをつくる。
 - ・若者向けの情報発信媒体の活用など、ターゲットに対して効果的な情報発信をしていくことが必要。
 - ・住んでみると「意外と良い」ことを実感する人が多い。この意外性を積極的に発信していくことが必要。

▼まちづくり専門部会からの提案

- ・マンションの開発段階から町会・自治会加入のルールづくりが必要である。

▼子ども専門部会からの提案

- ・子どもの貧困の問題を解決するため、ひとり親家庭への対応や、職業訓練や福祉のあり方を検討してほしい。

区民あだちサロン及び中高生ワークショップの課題

- 【コミュニティ】・地域の集まりなどに入りにくい雰囲気がある。
 - ・若い世代の地域の行事への参加が少ない。
 - ・子どもから高齢者、単身者や子育ての人まで参加できる場や機会が必要。
- 【支えあい】・ひとり暮らし高齢者のつながりづくりが必要。
- 【産業・経済】・小さな商店街が無くなりつつある。
- 【治安・マナー・モラル】・マナーを守り、犯罪が少なく住みやすいまちづくりが必要。

将来像及び基本理念（案）

足立区の将来像（あるべき姿）

- あまりお金をかけずに、まちも心も豊かに成長するまち
足立区がこれまで歩み培ってきたまちの豊かさに加え、互いに認めあい、支えあいながら、誰もが心の豊かさを得ることができ、楽しく暮らせるまちを目指します。
- 足立らしい多様なコミュニティと連帯感が生まれるまち
足立区特有の下町コミュニティや昔から続くお祭りなどを大切にしながら、新たな人を受け入れ、多様な世代が交流できる、緩やかにつながるコミュニティづくりを進めます。
- 生涯にわたって健康でいきいきと活躍できるまち
足立区で暮らす中で心と体の健康が保たれ、生涯にわたって一人ひとりが力を発揮することにより、足立区の更なる発展を目指します。
- 足立区の魅力をともに育み、積極的に発信していくまち
ネガティブなイメージを払拭するために、誰もが共感できるシンボルを掲げるとともに、足立区に関わる全ての主体が足立区の魅力や資源を磨き、育み、積極的にアピールできるまちを目指します。

将来像を設定した根本となる考え方（基本理念）

■心の豊かさ

これからの時代は、一人ひとりの価値観が尊重され、長い人生を豊かに歩めることが求められています。そのためには、人や地域の温もりに包まれながら、互いに認め合い、夢や希望の実現に向かって自分らしく生きられることが重要です。

■一体感

区民、行政、企業、大学など、足立区に関わる様々な主体が新たな交流や出会いを通して、足立区の未来に向けて連携・協力しながら取り組む。そのような一体感や連帯感を醸成しながら、一人ひとりが力を発揮し、活気と魅力あふれる足立をともにつくることが重要です。

区民あだちサロン及び中高生ワークショップの「足立区の将来像」

- 隣近所で声をかけあい、地域の絆が深まるまち
- 地域のみんなで見守っていけるまち
- 活気にあふれた熱いまち
- 高齢者が活躍できるまち
- あらゆる世代が元気で暮らしやすいまち
- それぞれの年代にあった居場所があり、安心・安全・信頼できるまち
- 団結感があるまち
- あいさつが飛び交うまち